836
209
3

艸草年録

鬼報録
外録

百八

国立国会図書館　　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用

鬼報餘聞　本録第五輯補

慶應四戊辰年四月ヨリ閏四月ニ至ル

下等御用状留

大正 9. 5. 27 購求

帝國圖書館藏書

發端四月十三日

一飯山ヨリ之口上書　本陣ニ

其元

御当面ニ銀山表ヨリ之使者ニ而之書状

ニ而当地御通過ニ付御届ニ参候ニ付

第一ト称シ之同所ヨリ之書状ニ而当地

其元様ニ於テ御用ニ付御通行ニ而ハ

まことニ以テ仰出ト　右之通ニ而後ニ

成程ニ而

一越後ヨリ探索ニ差越シ候ヨリ之注進ニ而

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

一 相撲取共を相手取
一 某の相撲共多人数天
狗組と号し

一 [illegible] 前田侯 [illegible]
[illegible] 八十石弐人扶持 上 被 村井
右之人儀去ル戌年 [illegible] 文化
[illegible] 新参罷成候ニ付 [illegible]
今度 [illegible] 為
其外 [illegible]

一 越後ニ天谷権八大栗金蔵と申者有之
[illegible]
右之者有松藩ニ出雲高札御取払ニ
[illegible] 宿役人ニ相成弐十四日弐度
[illegible] 無組 [illegible]
[illegible] 右之通ニ

追ニ而当ル酉年ニ於又々当ル戌年ニ
右之儀去ル明子年ニ而満ニ付相成ニ
[illegible] 無組ニ而
[illegible] 宿役人ニ相成弐十四日弐度
[illegible] 無組ニ而
[illegible] 右之通ニ

渡辺九大助 関口守衛北越探偵記
四月五日清川ヲ発シ仰有十五日出立同晩ニ
[illegible]
一赤谷新発田ヨリ五里余津入
口之番所有之
[illegible] 多人数屯集ス ト云

一酒屋 新潟ノ 会津陣屋ヲ百五十人余 ニ至 焼払会津新領ノ内所々ニ或十人或二十人群居スト云

一新潟当路ニ会藩五六百ヲ有テ新潟市中ニ出入リ厳ニ警衛ス 此ヘ政務諸事人多ノ為ノミニ非ストス

一三月下旬ニ歩兵諸藩士共新潟ニ集ルヲ以テ 致シ四首ヲ梟木ニ懸ル其後四月 廿九日ニ又四人死罪ニ処ス 右ハ内務省 新潟 ニテ五人死罪ス 仍テ会藩ノ頼ニ依テ姑且白地ノ丸紋 付キ丈五尺程ノ旗三流是ヲ同時ニ掲ケ当番ス

但シ歩兵四月九日新潟出立ノ後新発ノ 一所不受故三千余ノ倍ニ四千余ヲ置ケリ

一新潟ノ歩兵宿舎ハ寺ノ内ニ会津寺 浄泉寺 右四寺ニ会津藩ノ ト云 新潟ニ都合五百人余ト云 歩兵四月二日迄ニ 追ニ交代ニ兵アリト云

但会藩ニテ新発ノ四ヶ月ニ弐百両ヲ与ヘタリト云

一四月九日歩兵七百人余新潟出立 兵ヲ分チ内野 新潟 ノ十一日夜中之 教弥彦 寺塚ノ 残兵ハ地蔵堂ニ不至 十一日直ニ村上ニ着ヤ 観音堂 弥彦ノ 廻リ一泊十三日ニ吏ノ寺泊ニ着宿ス

但シ歩兵若ノ物ハ会津家政向ニ長州六七輌有テ 無ノ外ハ皆ナ 向ヲ以テ風説ニ通ノ一ノ成ト云

一四月十一日寺泊ニ着スル第一隊ト定ノ二百七十人余陸ス ト云 夜ニ入 〇十二日出立ス 〇十三日夕陽帰着ス

但シ与板城下ら十二日昼八ツ時より押来り兵ヲ別テ二百人程城外山上ニ陣ス
餘兵ハ市中ニ出鍋屋大阪屋ト云ル豪商ニ到リシカ大阪屋ハ行早速千
両余金ヲ出シ一同致シタリケレハ餘ハ是ヲ用意ナシ差出ス賊隊長ヨリ
与板の者ノ役人ニ談論シ及ニ一万金借用致度ト申入レ役是ニテ先当金五
千両ニテ此場ハ相済スト云 与板領ニテ 観音寺 久賀の某ノ博頭アリ
此者入ニ而く其外乗馬或ハ借ル無ヲ受此夜八ツ時頃より鍋屋大阪屋ニ到
一 家押入数千金ヲ取出シ乱暴ストト云〇同月十二日ニ至り乱暴頭取
ト云シ五人死罪ニ致シ梟首ナス右乱暴ニて盗取捨札ニ記シ罪ト云右ハ
金子取調返却セシトモ不残ハ不返ト云此日七ツ立ニ而御狩又与板家
ト云ニハ御金五千両ハ近日受取可参と御用意致し可置ト云テ兵
一 ヲ引るとて 与板市中大騒動ニて家財ヲ近在ニ送り老児ヲ遠親ニ遣シナド

いえ人ニ不了〇四月二日新潟ニ来ル以後田上村 新潟石 九十五ヶ所ニ兵隊ヲ
原の市島和泉屋ニ至リ金穀ヲ取出シ或ハ武器ヲ押借スト云 浜ノ水原
の市島ニテハ六万石 和泉屋ニテハ三万石ノ米ニ而何方ニ此数穀積置
ト哉定めて新潟出張ノ人ニ渡頼ミ之の儀ト云〇四月七日夜佐々木
迄新潟ニ出張ニ 大川前通リ某家ニ 二人来リしが出兵ハ押入有金千八百両余
出して上様方御借用ト云 子七百両程借受ニ而候ニ差紙ヲ出シ
立ハ日夕七ツ時迄ニ不残積受取置可出ス丸四千両程之元
七日夜此両人ニ寄進ト引出大方ニテ御殺ト云
一 十二日地蔵堂ニ大寺ニ兵隊ヲ入数百人入来〇十二日帰
両千ニテ大寺相加ハリ隊ニ随従ノ侍合併ス〇十四日ニ新潟出立ニ相成無程又弐二
隊ヲ隊ヲ出張出立罷越ニ付何故ハ大将七兵衛此ハ或ハ兵糧ナシと貴方人

有ヽ信不合説大偏ニ及ヒ尊智方隊長并ニ諸集議シテ詰問ス所詮ニ不成
夫ゟ第一隊此宿出之迄相待第二隊ヲ使ニ説出シ呼返ス然ルニ生福寺ト云有リ
其門前ゟ上ニ至集シテ又々談論相成リ後ニハ惣方隊長自ラ揚リ廻リナドシ甚
折合ニ難ク市中之衆人以ての外ニ騒キ立ルト云是朝五ツ時ゟ四ツ時迄混雑ス
無程和談ニ成リケン第一隊之者共皆々炮管懸ケナドシテ正福寺後地ハ山也其中
程ニ山道アリテ本陣ノ五十嵐武兵衛屋敷之辺迄続クナリ其山道ヲ廃寺園ニ
本陣ヨリ夜ヲ包ム隊長ハ本陣ニ之又其門市中大ニ混雑ナス只市人兵火ニ恐
可驚ヲ恐テ也其陣ニ事ゟ計ニテ熟談ニ相成ルト見ヘ第一隊モ兵ヲ解
第一第二共正福寺ニ入陣シテ昼飯ヲ喫シ支度ヲ成シ隊ハ地蔵堂ニ於
シテ出兵ス第二隊ハ当所ゟ出立ス一ハ陣ヲ立直シナドシタリケル所為
ナシタルヤ八ツ時ゟ出立ナシ是又地蔵堂ヲ指テ行カレト当宿ゟ塗町ト云

所迄参リ又ニ引返シタリケン当宿ゟ引上ト聞シ一同炮発チシ寺泊ゟ停宿セス
一 翌十五日寺泊出立出雲崎ニ着陣ス是第二隊也
一 第一隊ハ十四日地蔵堂ニ宿シ十五日夕陽ニ又ニ寺泊ニ至泊ス ○十六日出立出雲崎ニ着ス第二隊ハ此日滞留ナリ ○十七日第一第二トモニ合集シテ其駅ニ滞陣也
○十八日一同出雲崎出立柏崎ニ行
但シ第二隊ハ十六日出雲崎出立柏崎ニ着宿其行程七里 ○十七日出立柏崎ニ着宿其行程六里余 ○十八日出立今町ニ着宿其行程三里余 ○十九日出立ニ而ニ行数刻談論アリテ夕陽ニ出立荒井ニ泊ス惣軍着候ハ御夜ト云其行程四里余
○廿日出立行列路ニ談所為ニ有リケル其夜ニ而ニ引返シ荒井ニ滞陣ス
ニ而ニ十八五千両被出雲ゟ而ニ上荒井宿ニ駐役出役料所勢ヲ誘ト云
厚く云ふト云

寺泊ニテ十四日出雲崎ヘ御分一隊 分二隊大将ハ根元ハ寺泊ヨリ会津分別
ニ多ク在リ二ノ陣備ニ而右寺泊大坂ヨリ鶴屋ノ家数八百余人ニ候備道筋モ有之
芝岩并次第ニ相成候事ニ又ソロ
〇廿日夜ヨリ新田 右ハ越後 二里 今町ヘ 近し ラ一所ニ新井ヨリ来ル故ヲ一人ニ神社
宿之并二百今町ホテ様子ヲ探リ一人ハ農人ハ姿ヲカヘ杜隣近辺来ト
牧関田ノクイ木ノ峠ニテ巡リ千人出張ハ未荒井ニ化装シ子ノ数多
ヘ入テ有ルノクイ牧関田三ケ所ニ白旗一本流レ見エ上カ今ノ椎谷陣之所
一 出勢候山麓未十九日三口之峠寄兵ニテ[illegible]
一 幸[illegible]柏崎ヘ行軍道ニ行合所直先ハ寄兵之内頭役小川様ト申
幸次ト申者竹田某其外[illegible]三百人ノ大砲鉄砲ヲ持見
廻リト申者ヲ[illegible]

一 水府浪士ノ者并彼柳葉隊 四百十人 日三百人余寺泊ニ宿陣 〇十七日出雲崎出雲
崎ニ着ス今以在陣也
一 水府浪士後軍二百人余十七日寺泊ニ着今以滞陣也
但此柳葉隊ト申ハ浪士孫彦ニ一所ニ在陣而右之少将ト云
水府柳葉隊ハ彼天狗組ト申[illegible]相成四月二日出国[illegible]共夜大風雨ニ
幸ヲ[illegible]殺生[illegible]
佐州ヘ渡海致候ニ付出張也
出柳葉隊十五日新潟出立孫彦何ヘ〇十六日寺泊着陣〇十七日出雲崎ニ着
後軍ハ十六日新潟出立孫彦何ヘ〇十七日寺泊着久
一 会津様軍隊十八人四月十八日新潟出立孫彦何ヘ〇十九日寺泊ヨリ出雲崎ニ滞陣久
但ニ役牟二年孫ト云ル隊長ト云リ

一　歩兵新宿近辺ニ當時在陣ス勢近日上リノ事取沙汰候得共兵数ハ不相分ト云

但今度出ノ兵ハ柳営隊ハ元会藩田北役ノ名儀之

一　脱走ノ兵賊隊先鋒ニ而

歩兵隊六百人

歩兵隊　歩兵六百人　玉薬武器入　大砲十挺　武器有之様

尚撰六個　木島六匹　田右馬廿疋　人足三百五十四人

軍事方古屋佐久左衛門　作役横田健蔵　呈蔵様　梶原雄之助　頭取　山儀仲之丞　本多馬之助　是者本多馬之助

会津方高橋丹次　是ハ元新井旅大和之守家来ニ而　其後ニ相替子細有之　歩兵隊　渋谷誠之助

歩兵役今井仲(?)郎　廿人程在歩絶倫之人ナレ氏　廿有余歳ニ而放免ス

其外小役潭十五人　七見兵庫　木口貝八以上ル者　歩兵人数ハ(?)

其二隊之頭役　天野新太郎　之庸(?)半之助　役　会之助

但歩兵隊軍内之役目相祖相ハ不残渋沢和兵衛云

一　中斎隊半柳原隊之頭取役　二千八百石　堤兵部　二千石　田村猶之助　二千石　久貝三之助

三百石　薫(?)比馬之丞　三百石　之田彦八郎　さ士(?)之上　之田彦八郎男　望月彦兵衛

但之七分通リ渋沢和兵衛之儀ハ廿レナリ

一　会津松平隊頭分　会津様　本国雄筆(?)　江戸方小家住居　典山　是ハ入道故禅家ニ雲水ニ出立探索ニ七兵衛　是ハ歩兵ヨリ出スト云　古キ笠ヲ着　桐田ヨリ出ル

一　寺尾宗之丞支配ニ属シ且ニ三月十二日脱走ニ五名　五十嵐武兵衛　戸山八十吉　長崎末永　正徳寺大蔵　柳下安之助

其数乏脱走北ニ三百人余ニ有之由今何之三月ノ其不知是ハ会津兵トハ不分従之

一　六日町長岡ヨリ十五里程　従還ナリ　会藩家多出張有之ト云

一　小山　六日町口ノ道ナリ　小千谷ニ近シ　会藩三百人在陣ト云

一 三月下旬会津勢凡万人程ニ千谷陣屋ヘ来ル ○四月十六日五千人余来ル

大砲五六門ハ持来リナス

但陣屋ニ而下町ノ五智院 寺町ノ正泉寺右両寺ハ陣ス日ニ山鏡[illegible]

ツナシ夜ハ夕様新発田ノ事トスルト云 大砲モ火入ナ[illegible]

一 加州ハ[illegible]江戸詰ニ而千人程上ル由 四月廿二日糸魚川江先船着ノ処

川留ニ而十二日ニハ未不来也

一 会津征伐ニ仙台佐竹南部津軽右四家ハ 天朝ヨリ[illegible]府

仙台ハ重役大槻[illegible]ナル者上京ニテ[illegible]逢ト云方今外見ニ茂右之

ト[illegible] 御国内[illegible]乱ニ而[illegible]て誠ニ心痛ニ付 一同伏て歎ケ所ニ有之と云

一 朝命ニハ[illegible]征伐ハ不致ニハ[illegible]依何

辛[illegible]天[illegible]京都迄[illegible]無[illegible]四月十六日征伐相

始[illegible]ト[illegible]其[illegible]如何之事ニや未聞ト云

但是ハ先会津重役ニ而[illegible]人程仙台ハ歎願[illegible]自持来ル者ハ皆

[illegible]包ニ持[illegible]上下之者と大短刀一口ヲ帯シ既ニ而其体甚恐懼[illegible]

仙台ニ而ハ役[illegible]屋ニ通シ四方ヲ固メ厳重[illegible]右歎

一 歎[illegible]十[illegible]仙[illegible]天[illegible]

[illegible]

一 奥羽諸侯ハ会津征伐之義 朝敵之名其[illegible]不相立[illegible]相[illegible]

朝命[illegible]出兵ハ致トても 征伐ハ不致ニ付[illegible]

一 佐竹[illegible]両家ニてハ甚不都合[illegible]佐竹ニてハ[illegible]一切不[illegible]

[illegible]ニてハ又佐竹殿之者 一切不入由十年二十年[illegible]

一 [illegible]

一 米沢ハ尊攘王ト申候共内実ハ会津之姿押ヘ事行ハ越後ノ応
領ナリ手ニ入可申内心有之ト云

一 長岡新発田与板村松村上ハ会津ニ力ヲ加ヘ候内何致シ可申所
与板ハ返石故此間之処置ヲ存シ申長岡ニテハ内応ニテ詞諍ヲ致シ居候
ニ付動キ候ニ付右所本役ニ差シ置ントスルコトニ重役川井某ニ詞諍ヲ迫メテ
以テ大人出向ヒ候由ニ候と云

一 会津ハ会津之恐居ト変シ形勢ヲ示シ成ト申 朝命ニ背キ候ニ付某家ニ代
ル可キ者ナリ
但定敬ハ藩士ハ数人召連レ行キ藩中ニテハ別レ桑名ニ三千人
余罷リ二月三日之頃会津ヘ参リ候由行之関割遣シ候と云
当家細事ハ謂テ来ル者ノ申トテ虚言ニ可有之

二月
渡辺左京
関口守衛

（十七）加藤友次手紙
場所ハ作候ニ付表不及申中郷ニ来テ事情形勢探索致候処此表ハ不穏ト
節途中新所宿之人足召連右兵衛ハ申上ル出遇ヒ吉田村ヘ申上ル通
中郷ニテハ人心甚タ不穏成候由之別条無之候松本有處ニ候ニ

先守所を追出されし姿なれども随分の者共不残福嶋迄出立して當
人いまだ人数錦持参致さゞる内の急ぎ陸路を福嶋へ参着仕候
所が福山へ参りまして始めて福嶋仕方如何様にも建議によりて安
心仕候右之段会津若松表へ御通達奉願上候
安田を始めとして十人位もどしてくれろとの事
これ又差今當惑仕候に付き色々と手を尽して
此の和議行き届候の事待ち上精々御尽力下され度
候通り申し多少の仕方ども違ひあり心配仕候
なれども福嶋一統へも申述べ家老(名代)五人十人位
まで道具お仕度御積りにて御越し被下度
尚又御用向きの儀は御申越し被下度
以上
右之通り申述べ候間速に御出立の程
偏に奉願上候
以上

一筆啓上仕候陳者今般御家中の者共上京の義は是迄仕候
御誠心の程感入候事に御座候然者豊後守
儀も此度御用召しに付き
こゝもとの人数も早々引取候様仕度
信義を以て申し合せ候通り御出発なされ候様
御尽力偏に奉願上候
一筆啓上仕候然者今般御家中の者共上京の義は是迄仕候
御誠心の程感入候事に御座候然者豊後守
儀も此度御用召しに付き
こゝもとの人数も早々引取候様仕度
信義を以て申し合せ候通り御出発なされ候様
御尽力偏に奉願上候
以上
右之通り申述べ候間速に御出立の程
偏に奉願上候
以上

一筆啓上仕候陳者今般御家中の者共上京の義は是迄仕候
御誠心の程感入候事に御座候然者豊後守
儀も此度御用召しに付き
こゝもとの人数も早々引取候様仕度
信義を以て申し合せ候通り御出発なされ候様
御尽力偏に奉願上候
以上

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

不て屋ふ名てスサく為ス中述ル如ク無ク為ノ事ヲ
候ヤ述ル通候ヘ共事情ノ顧ル近ノ人数ヲ
ヒキ不ヤ上ル通行ヲ許ス甚又是迄ノ事情ヲ
賃任右ノ為ニ此度ノ移兵ヲ願ノ義ニ通行ヲ
庇護被成ノ御ヲ以ノ如ク無警ニ
ニ無ク上ノ為ヒ移兵ヲ為ノ義ニ通行ヲ
左候ヘ共ヒ其ヒ事ヲ為ニ此上ヒ事ヲ
ヒ移ヒ此ヒ事ヲ為ニ此上ヒ事ヲ
有ヲ考ヘ人数ヒ迄ヒ成ル可ヒ
ヤ若移行ヲ於ヒ為ニ拒面ヒ

一中野ヒ方ル今以テ参ヒ不ヒ相ヒ探索ヒ候ヒ
有ヲ行ヒ表ヒ成候ヒ
一松平肥後守ヒ家ヒ大勢ヒ
相成兼ル中ヒ拒ヒ候ヒ
為ヒ
一名ヒ飯山ヒ参ル上ヒ為ヒ
いつれ明ヒ
ヒ頼ヒ
ヒ
一名ヒ飯山ヒ参ル上ヒ為ヒ
ヒ先ヒ
ヒ
為ヒ

右条々

一 此方ニ而実ニ御請ニ付其ニ而御様方ニも此方へ相成候ハヽ一同引取候事

四月廿一日 御一騎 振 右之通

四月廿二日

館孝手簡 四月廿二日四ツ時着

昨今幸便之者年礼宿より飯越[illegible]之ニ付此方一ト歩兵隊飯山城下ニ而ツ

時ニ出張倉原辺通行之義後国茂井宿ニ而荒引取ニ而事又一同関川宿

通行柏原年礼宿より信州路へ押来ニ而風聞ニ而御座候ニ付年礼宿へ松代ニ而役人出

張ニ而之義[illegible]今飯山布施村ニ而出立ニ而年礼宿ニ而又一人も松代よりニ而出役

一 [illegible]年礼宿へ飯越[illegible]実事一向ニ而上ニ心得ニ而

一 柏年礼宿へ飯越如今飯山関川町布施村へ出立ニ而松代ニ而

一 人も[illegible]実[illegible]

一 関屋[illegible]一面合[illegible]荒井宿[illegible]飯越[illegible]

兵隊[illegible]一同関川より年礼通行[illegible]押入[illegible]実[illegible]

[illegible]実[illegible]進[illegible]

一 [illegible]高田[illegible]出立[illegible]夜早進[illegible]飯越[illegible]

到来之趣申[illegible]右[illegible]荒井宿[illegible]実[illegible]

田早進[illegible]通

四月十七日 越州柳崎宿泊人数 〆[illegible]人

四月十九日 同所[illegible]〆[illegible]相減[illegible]

一 高田[illegible]押入[illegible]早[illegible]許判[illegible]行[illegible]今町宿へ

飯越[illegible]荒井宿[illegible]上宿[illegible]衛[illegible]

[illegible]隊長[illegible]城下[illegible]止宿[illegible]

中嶋源之進　濱田治部　寺村大作　福山三郎　今井信兵衛　以上七人

外ニ　荒井宗右衛門ハ浪人ニ而上宗と名を改め来りしニ付而

一 四月九日飯ニ荒井宗右衛門近江ニ而足北ニ而飯山城下ニ押入放火致し有之城下ニ上宗を

隠置候人々處務仕りて及ひ飯山表鎮撫被致申候処右之勢飯山ニ而一ツ九

何とも如何之趣意差ク洩り候得者右之人々兄不存知頼ニ事関下ニ無之叛之

之様存候へ引受一同顔挨拶之有所蔵変合ニ及之処昨十一日夜迄ニ

四人余越州荒井宗右衛門近飯山城下ゟ引受申候為二百人計ハ飯山表ニ

残居候越州夫より後是穏便ニ取扱ニ致し候ニ付越ニ模様次第当兵ニ而

不残有之以上へ討可申高田家定之国人数も出居候

一 相成段申候ト

一 加州之家老領出羽左平之手之者早々挑御之手通行有右之者一両人

之面表ニ引取相引人数ハ右之通

一 四月廿一日夕七ツ時ニ而飯山城下ニ而之手前ニ而越後ゟ人数多人数鉄砲ニ持参出

之由是ハ荒井宗右衛門上宗を当兵落居候ニも可有之と申風聞之由ニ申候ト

一 同月同日荒井宗右衛門并荒井宗右衛門近行之者当兵共三百人計飯山城下ゟ引取候ニ付

之趣見届候ニ付近之途中見物仕候処一同大勢之見苦敷体ニ而

引取候由ニ見届候条々相成申候ト

一 途中風聞ニ而も飯山ニも多分人数有之候由申候ト

一 途中風聞ニ信州之儀一不残引払越後ニ引取候由外ニ而も申之風聞多之趣申候ト

一 四月廿一日江戸ゟ加州家老御国元へ行途中同所ニ而双方風聞

合出羽守殿同役之者出向候様当兵之者之行違ニ而途中之由是

而清申候乱法之儀ニ而騒動之聞書申候ト是ハ格別ニも無之候

如何ニ候ヤ之段申ス

一 年礼寄堂今村代ヨリ来ル人ニ出府之事不参并来ル廿日迄
ニ帰国之事ハ不行届之次第ニ候ヘ共病気ニ而之事故ニ候
甚不本意之至ニ候ヘ共自然延引ニ相成候ハヽ猶又御届
可申上候

一 此度之儀ニ付而ハ色々御心配之儀ニ候ヘ共御蔭ニ而
無滞相済候ニ付御礼之為メ申上候

一 今村太田子村ニ有之右ニ而御座候哉之段
如何ニ候ハヽ御下知之程如何ニ候哉之段申上候

一 竹木下ニ夜ニ入候ハヽ御城下ニ而御座候哉
又ハ御山ニ而御座候哉之段御屋敷ニ而ハ無之御家老
ノ内ニ而ハ無之哉ニ存候ニ付御届之儀ハ如何ニ
仕候ハヽ宜敷哉之段御伺申上候

一 今村太田子村ニ有之右ニ而御座候哉之段
如何ニ候ハヽ御下知之程如何ニ候哉之段申上候

一 竹木下ニ夜ニ入候ハヽ御城下ニ而御座候哉
又ハ御山ニ而御座候哉之段御屋敷ニ而ハ無之御家老
ノ内ニ而ハ無之哉ニ存候ニ付御届之儀ハ如何ニ
仕候ハヽ宜敷哉之段御伺申上候

今下中之ヲ御山御役所ニ而ハ御大将ニ而ハ無之ニ付
中仕切ニ而申候ハヽ通シ可申哉之段申上候

一 竹木下ニ夜ニ入候ハヽ御城下ニ而御座候哉
又ハ御山ニ而御座候哉之段御屋敷ニ而ハ無之御家老
ノ内ニ而ハ無之哉ニ存候ニ付御届之儀ハ如何ニ
仕候ハヽ宜敷哉之段御伺申上候

一 今村太田子村ニ有之右ニ而御座候哉之段
如何ニ候ハヽ御下知之程如何ニ候哉之段申上候

一 竹木下ニ夜ニ入候ハヽ御城下ニ而御座候哉
又ハ御山ニ而御座候哉之段御屋敷ニ而ハ無之御家老
ノ内ニ而ハ無之哉ニ存候ニ付御届之儀ハ如何ニ
仕候ハヽ宜敷哉之段御伺申上候

今下中之ヲ御山御役所ニ而ハ御大将ニ而ハ無之ニ付
中仕切ニ而申候ハヽ通シ可申哉之段申上候

但日夕御山ニ着之当兵隊中ニ神人ヲ以ニ而ハ無之
ニ付人数ハ何ほど中ニ而ハ無之哉之段申上候

右最文記之儀并ニ一見之上御下知之程如何ニ候哉之段
申上候

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3　ガラス使用

(六)下見甘露山清樓索

飯山表ニ戦徒入込ニ候ヨリ今西川筋後迄隅々探索

一山之手村大崎村若狭村若松村布施村赤沼村
後ハ十余里迄所々候ヨリ
一浅野村立ち花村上今井村大又村樽巻村七村倶ニ
一安田村ニ戦徒有之哉ニ探索ニ
一九ヶ所ニ安田村名主伝右衛門宅ニ若同人ヲ
石右衛門ニ候哉ニ伝右衛門ニ候ハヽ
一次第書ニ人数ニ鉄砲ニ
一大崎ニ戦徒指置ニ候哉ニ探索ニ
山手ニ有之ニ候哉ニ探索ニ
四ヶ所ニ而方ニ山ニ小山ニ
人数ニ候ハヽ
有之ニ候ハヽ
ニ候哉ニ探索ニ

飯山表ニ戦徒入込ニ候ヨリ今西川筋後迄隅々探索

一山之手村大崎村若狭村若松村布施村赤沼村
後ハ十余里迄所々候ヨリ
一浅野村立ち花村上今井村大又村樽巻村七村倶ニ
一安田村ニ戦徒有之哉ニ探索ニ

野中細道未述事

一 馬之定有之由大砲を以

一 昨廿日夜西村方ゟ飯山町へ新額有之大砲を以
発砲之風聞ニ而今朝ゟ町々行ゐ引取候様子ニ
相成候ニ付不取敢飛脚を以
一 飯山松ノ木ノ内ゟ西城ノ食ニ引取候様子
一 昨廿日夜中郡奉行人数ニ而
発砲ゟ西軍飯山迄引取候ニ付
今日ハ千川ゟ流ノ由ニ而人数ニ
一 昨夜中賊共ハ西軍飯山ニ
於人家ゟ取出候ニ付大砲ニ
一 飯山町ニ於ハ
事未ニ而ゟ無之候ニ付
一 昨二十日ゟ飯山ニ
祖佐葉迄ニ而ハ
一 飯山町ニ於ハ
事未ニ而ゟ無之候ニ付
一 昨二十日ゟ飯山ニ
祖佐葉迄ニ而ハ

[illegible]

十九 詞役樫宗吉　當廿の夜子新出之四ツ半一ツ備山辺迄相止宿仕候と見
守之者有之ニ付
サヽ宗吉ニ而ハ仕又者の夫無之引連ニ而ハ敷旨新ニ松寺等所ニ而ハ
人數之内ニ而ハ御程宗吉通行敷旨

下ノ分　唐山清一ツ

[illegible]

四月廿四日宇喜ヱ江戸ゟ屋敷へ荷物
東山道御宿寄ゟ信州十萬一ツ行迄達
近ノ賊徒共越後ゟ信州ニ侵入ニ敷旨

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

候而ハ不容易之次第ニ付闔国之藩々申合セ応援防禦之兵ヲ配
シ十全之策ヲ立候様治国家同心協力可盡忠勤候事

辰四月

別紙之通被仰出候條江達セシメ各藩宜有勉励候事

東山道總督府
執事

辰四月廿二日

諏訪因幡守殿　戸田丹波守殿　堀出雲守殿　堀[illegible]殿
[illegible]守殿　藤井伊賀守殿　内藤若狭守殿　牧野遠江守殿
田中[illegible]殿　大給縫殿頭殿
右之外ニ一通ツヽ相渡候也

此書相下ケ[illegible]ヲ得タリ

㊂ 中野村出張之者より注進之届
此節今般山表之子細[illegible]不届[illegible]
中野表[illegible]人数[illegible]一ノ手ハ[illegible]山[illegible]

敵方打入候ニ付一ノ手ハ川向ニ陣取リ[illegible]如川西之方ヘ人数進テ静
間村[illegible]相成[illegible]川東[illegible]岩井村[illegible]同村ニ三丁程離候
[illegible]東[illegible]相成[illegible]飯山之方ヘ[illegible]賊[illegible]
方ヘ砲発[illegible]寺抜[illegible]川
向之事[illegible]
賊徒[illegible]下[illegible]飯山城下上町真宗寺[illegible]飯山城[illegible]九寺
賊徒放火ニテ焼払ニ成タルナリ
[illegible]真宗寺一大瀧寺迄[illegible]放火[illegible]城下[illegible]焼失致
[illegible]人数[illegible]城[illegible]賊徒
[illegible]近[illegible]東條[illegible]浄土真宗
[illegible]中大寺[illegible]人数[illegible]
[illegible]今迄[illegible]行[illegible]三寺

死傷各多人アリ
佐[illegible]ノ[illegible]

村か人足ニ而我孫村人村役人ニ而案内
取り其ノ孫ノ相又ハ前ニ草庵近ク而行ニ候人上州ニ而大さつぎ
有之ト而ハ悪ク而十四行ニ而ハ向ニ而ハ悪ク
尾村迄里程ニ而ハ三里ニ而ハ悪ク
ニ而ハ悪ク而ハ先ハ悪ク
ニ而ハ悪ク而ハ先ハ悪ク
当ハ別紙絵図ニ而ハ悪ク
行ニ而ハ悪ク
白米十五俵 ニ而ハ悪ク
大日ニ而ハ悪ク

一 昨夕飯山城ニ而ハ悪ク
候ハ不行届ニ而ハ悪ク
ニ而ハ悪ク
ニ而ハ悪ク

一 此度ニ而ハ今日ニ而ハ悪ク
ニ而ハ悪ク
ニ而ハ悪ク
ニ而ハ悪ク
仕度ニ而ハ悪ク
ニ而ハ悪ク
先ニ而ハ悪ク
ニ而ハ悪ク
ニ而ハ悪ク

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

(三)

戦勝の者再調

長谷川

御名採られ

御書案

見候ハ安田山賊徒ゟ度々及乱妨候ニ付此方ゟ茂打合候処無勝敗之次ニ付
ゟ又々ト相図ニ付夜半頃ゟ人数ヲ配り夜中ゟ及戦争候処中ニ者打出候賊徒翌朝五時前退ニ
候処船橋ニ而下ヶ渡近辺ニ而待居候処賊徒共三人大人数見出し船ニ乗逃出し候ニ付打取
中ト大流ニ而相成候ニ付尾州藩一同安田陵船橋辺ニ而手ヲ分ケ川西岸ニ屯在之賊
徒共私人数ニ而討取候処九ツ時頃　昨廿五日早天先手人数尾州藩一同安田
陵船橋辺ヘ進軍いたし候処川向岸ニ屯在之賊徒共ゟ大砲小銃打掛候ニ付私人数ゟ
茂大砲打掛候処四ツ時頃ニ至り賊徒敗走いたし候処賊徒城下ニ屯集致居候旨
候ニ付直様打払旁進軍ニ及候処町口ゟ入込候ニ付城中ゟ出候尾州藩ゟ兵隊大砲
相成ト申ス実効相立ト称シ候　候ニ付城門其外打破り候処早城中ニ者賊徒無之候ニ付相尋候処
銃兵手込一統ニ而守衛致置候処賊徒追掃候ニ付尚又藩兵相備候由
様兵ニ而守衛致置候処尾州藩ニ而実効有之候ニ付尚又藩兵相備候由格別尽力候事

不ハ候ハ接戦ニ及候処夥敷人数ヲ以豊後守殿ト申立実効有之候ニ付右ニ而中島
此方之者共城中へ追入候処城内ゟ砲声相発し続数声相聞候ニ付右之者共ヲ整
尾州藩ニ而者実効相顕候ニ付右之者共ヲ進軍為致候処実効有之候ニ付相達
ニ付尾州藩一同川ヲ隔て居候処賊徒共忽敗走いたし尾州藩人数之
内ニ川水ニ入向岸ヲ攻撃いたし候処賊徒共敗走いたし候ニ付私家来并尾州藩之大手
除追罷越候処豊後守家来共出迎候ニ付安堵いたし候ニ付入城仕候処尾州藩一同二之丸
ニ而相守豊後守家来共者賊徒数百人程ニ而打取川西岸隊人数ニ而押掛候ニ付
同其後在番守衛之儀者城中ニ罷在候尾州藩ニ而敗走之賊徒尾州藩ニハ隠置候相探住居致
罷在候由申聞候ニ付右ニ罷下敗走之賊徒私家来并鍛山并尾州藩私共藩之者
藩士共尾州藩一同追討ニ及候処賊徒数多討取候且又私人数之内死傷細
相知追而可申上候得共不取敢先此段申上候以上

四月廿六日　無名

○武員ハ寫稿投書ニテ主意ハ北来ノ流賊ヲ掃攘之出兵ニシテ勝戦ヲ報聞スル者ニ非ズヤ然ルニ
出兵ノ最前後隊ノ郭外東西進軍戦争ノ事一ニ掲載セズ唯領山城ヲ取テ懐
首スルヲ以テ告ルモノヽ如シ主意ハ貫通セズ且本多氏警護守城今外援ヲ得テ内
外合勢賊ヲ掃ハントスルニ暮テ高木實効ヲ責メ使ヲ抑留スルカ如キ無情無義ナル武
家ノ礼ヲ知ラザル者ト云ヘシ過ル賊ノ城下ニ突入ノ時ハ答ルト今ノ使ハ答ル共ニ加
反ノ義意ニ出ルモノ歟抑モ本年者危ノ所為歟所謂弱キイヂメト云モノナリ一ノ疑
○安田浄ヲ隔テ復戦スルノ水西ニ百間余其効ナキノ依郎将ノ人当之ヲ云ヘリ一芳
ニ載ノ安田ヨリ領山城ノ距離ニ十町ハ隔ル可シ転戦砲ヲ高切リ差ス所ノ能ハズ然ニ
城下ノ從兵ヲ闘テ城川ニ擬スル水面ニ在テ乱発放セシナタル狼狽妄動一ノ笑ノ
至ニ如シ川ヲ隔テ屯衛方言ニノ評言スルカ如キ流言ヲ人兵ヲ知ル者無
謝リテ免ル可ラズ可也一文時或為士ニ我砲隊ニ諸衛兵ヲ案ジテ公爾ニ相
リテ答ニ若ニ支ヘ有リシト云私有ノ文砲隊ノ何者ナルヲ知ル者ノ有ルニ数十ナリ
十二寸余何砲ヲ別ニ大砲一門ト書スルカ如キ見ル可シ

○北越進軍
一領山領ニ入込居ル賊徒共ハ残ラズ新井宿ニ集リ追々高田ヘ押寄候由ニテ今日關山迄進軍致シ候
高田ニ援兵ヲ請ヒ高田之進軍未ダ協ハズ候ヘバ上ハ先ヅ見合居候　右之事
一北国街道ヨリ進軍　四月廿七日　此分既ニ鬼報録五冊四十三條ニ在
右之後ハ関山近辺ニ出張ノ賊徒潜伏シテ上谷口ニ而方々侵入ノ難計ニ付暫ク先軍見合
右之内領境ニ上リ進テ高田ニ而進軍
○尤新井宿ヘ出張ナシト一寿ニ申候ヤト云
賊徒共追撃廿六七日諸口ヨリ進軍新井宿近辺押詰ト之記第名ヲ達シ高田陣ト一手相
除進軍ニ治定有之鎮撫一組諸士一組當高ヨリ出張之候ヲ達シ先ニ一隊多方一ノ致出立
處賊ニ攘払相成軍有之折角未進ト云ニ處ニ當高ヨリ高田ヨリ有此口之合ノ度
主ニ先陣新井宿ニ押詰ト相定右相合ノ後兵隊高度迄出張致シ候　長谷川太郎大沼刺

稿

兵力不足故ニ余義表向ケニ而留置候外ニ種々ニ風聞ハ[illegible]新井宿ニテ者不意難
陸ニ敷ニテ御止[illegible]上ケ候ニ上候ハ海道科不定[illegible]
備後[illegible]ニ新宿ト忠数仕候由[illegible]松崎宿ニ其在前後相狭
[illegible]進退[illegible]仕候[illegible]下御[illegible]其者[illegible]戦後
御[illegible]探索[illegible]表ヨリ二十二里余下[illegible]川合大兵
衛[illegible]松代[illegible]人此者[illegible]出雲崎迄[illegible]探索者ニ寄
[illegible]川合方ニ今川迄[illegible]
一[illegible]大難[illegible]探索[illegible]
[illegible]
成松代[illegible]
[illegible]川辺[illegible]

一[illegible]探索[illegible]
[illegible]
[illegible]
一[illegible]新井宿[illegible]
[illegible]
新井[illegible]
戦兵[illegible]
[illegible]新井宿[illegible]
引[illegible]馬上ニ[illegible]川[illegible]
[illegible]馬上[illegible]三人[illegible]首二級[illegible]
[illegible]上ニ[illegible]首二級ハ

[illegible]歌谷の梶原雄と進み人館山を乾[illegible]
新井右之助[illegible]
御使[illegible]
[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3　　ガラス使用

[illegible]

[illegible]

[illegible]

下関御用状留　第二　抄　自壬四月 五月ニ至

壬四月廿日達

此表戦争之儀ニ付　御感状御頂戴ニ付其方共ニも軍功ト称シ[illegible]

当役[illegible]ニハ　御軍功ト申ニ付[illegible]ト　御感状被

従　御[illegible]御[illegible]上別紙写之通頂戴仕候旨[illegible]

今般之御趣意者[illegible]之事[illegible]之[illegible]ト　御感状ニ付

[illegible]此度[illegible]戦争ニ[illegible]長土大垣[illegible]人数[illegible]

[illegible]　御感状も[illegible]御[illegible]之[illegible]候ニ付[illegible]

御[illegible][illegible]　下関

[illegible]五月[illegible]

岩[illegible][illegible]写[illegible]

[illegible]直[illegible]上[illegible]

従前之[illegible]之[illegible]　[illegible]此[illegible]

[illegible]軍[illegible]起[illegible]至当[illegible]

[illegible]太平[illegible]九[illegible]

岩[illegible]

宇田栗園

七月　荒川[illegible]　[illegible]

三日　廣馬誌大趣意之其眼目ニ[illegible]田[illegible]相[illegible]

[illegible]了

[illegible]御[illegible]

[illegible]別紙之通[illegible]　旗　[illegible]御[illegible]

成下雑者式部大輔[illegible]役[illegible]人数[illegible]

[illegible]

[illegible]相[illegible]

勅を下し給ふ事なく候共、御同人を召
矢倉宿ホに下向迄と云迄も無之候や
ら世人の疑ひ之無様にて、御都合
尊王攘夷の人々も不残
一 第壱之次第、自四年正ら之事ニ候
一 之処二月阪山表ゟ之返ニ而ハ、右之
御ことわりニ而ハ之処、この
打ニ中略ニ而ハ
ニ而ハ之事ニ候
一 右ニ付而ハ
ニ而ハ之事ニ候
一 右ニ付而ハ
ニ而ハ之事ニ候
一 右ニ付而ハ
ニ而ハ之事ニ候

是迄ニ賊徒ニ対し天朝ニ而ハ
御政事 王政ニ復古
右ニ付而ハ
右ニ付而ハ又ニ別紙通
ニ而ハ之事ニ候
一 右ニ付而ハ
ニ而ハ之事ニ候

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3　　ガラス使用

一今度信州飯山表へ侵入之賊徒領内通行之節其方共手向いたし候處
為和代為平素申付置候處新徴組相立候處平素之寡兵を以追賊
徒殊ニ兵隊之内押出し候而已ならす何れも出張致し領分境ニ而押留
又ハ其上ニも追討致し候由ニ而飯山通行之難を防き候段神妙之
事ニ候右城下通行之許可致し飯山へ侵入せしめ候次第ニ至候ハヽ〔illegible〕
之勲功ニ候 朝廷并御感賞有之候ニ付其方より一際所之心得ニ而
川浦追々賊徒追捕之實功有之候段御感賞不斜候ニ付更ニ猶
兇徒之往還を遮断ニ而北陸道 御感賞有之難有可存候依之此段
郡王〔illegible〕一際奮勵之實効を可奏ニ就而ハ下知之上出兵之儀
之在陣之 官軍之城下へ操込候共之賊徒追討相成候様兼而大総督之
右之段ハ兼而申達候通 官軍之城下通行之節之〔illegible〕

一之段厚相心得早速申遣〔illegible〕
右之段申達候處〔illegible〕依之〔illegible〕大素ニ而 勤王二念〔illegible〕
一〔illegible〕早速出張致し〔illegible〕通行〔illegible〕述〔illegible〕
御同様〔illegible〕
〔illegible〕出張之〔illegible〕
〔illegible〕賊徒〔illegible〕進〔illegible〕

御沙汰書 以之数進〔illegible〕

一高田藩〔illegible〕〔illegible〕之兵〔illegible〕城下〔illegible〕右表〔illegible〕
州表侵入之賊徒追討之一條〔illegible〕
一今度〔illegible〕賊徒追討〔illegible〕之条〔illegible〕

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』 請求記号 836-3
ガラス使用

一三十石通一同ニ進軍ス
一敵全ク師ヲ引キ去リシヲ以テ追撃ノ人数ヲ精選シ殿ヲ命ス
右ノ外大略屯所ニ止リ依テ守ル所ノ軍ヲ以テ
四合止ムベシトノ事
○
一其後何ノ報モ無ク候ヘ共
○
河口先ヲ以テ実検ス
鉾崎ヲ番将同ニシテ二百人ノ人数ヲ以テ
一松ノ山ヲ固メテ柳原并ニ隊長ノ人数ヲ以テ
一峯名倉ヲ先ヲ以テ人数ヲ以テ
側ヲ固メ細ノ谷ヲ以テ殿ヲ
一鉾崎ヨリ下ノ同断ニシテ
弘前ヲ先ヲ以テ通行ヲ許ス
一鉾崎ヨリ追々ト知行ヲ
下ス
○
一九拾人
右北秋ヲ注進ス
取リ仕ル四月廿一日
一九拾人
右ノ外大略ハ
別紙ノ通実検ノ
衛将進軍ヨリ

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3　　ガラス使用

今日の為ニ戦後侵ス云々聞ユルモ未タ
其報ニ接セス而シテ此種ノ辺ニ
於テ此一ノ事実ヲ以テ
其方ニ
旅行ノ為ニ
阿蘇ニ
向ヒ
ノ
ノ

評議

先陳屯到
飯山ニ於テ
評議
討會兵進発
今朝来同所ニ
詳細ノ報告
ナシ
追テ兩催ス
但先ヲ安保泊ニ
陣ス

今朝来同所ニ詳細ノ報告ヲ待ツノ
ナシ追テ兩催ス右ノ
但先ヲ安保泊ニ陣ス

一 兵食ヲ定ムルノ事
一 六ヶ所ヲ以テ途中諸家ニ
家ニ止ル者ハ
軍ニ
一 其屯ニ
但先ヲ安保泊ニ陣ス

一 兵食ヲ定ムルノ事
一 六ヶ所ヲ以テ途中諸家ニ教導
家ニ止ル者ハ其ノ
軍ニ
一 其屯ニ
但先ヲ安保泊ニ陣ス

東山ヲ諸隊北ヨリ
東山ヲ諸隊北ヨリ進軍ニ
兵食ヲ
兵食ヲ義人馬

鬼報研究
報の保存

一舟益勉勵ヲ失ヒ怠ケ了解ニ相成大敗ヲ取今早合當ヲ不ヲ得ヲ通行ヲ
但三國境ヨリ人數小出陣屋ヨリ人數ヲ合テ百十八人小千谷陣屋ヨリ人
外ニ農兵凡四百人程ヤ

○清水教上前原橋一ヶ所ヲ通ル

三國ノ人數中ニ百餘農兵ハ小千谷ヨリ人數ヲ合テ百廿七人ノ異
兵ヲ聽集ノ上ヲ 右人數ハ昨夕ヲ不ヲ問ヲ東ヲ通行仕ル
但三國境ニテ所ノ人數ヲ小出陣屋ニ引退ク

○小千谷人數二百人ヲ合テ百ヲ百ヲ七集ニ長岡ヲ取ヲ支

○昨夕ヲ兵ヲ百人ヲ合テ百ヲ百ヲ迎ヲ出ル筈ニテ

○小千谷陣屋人數四千人程 但農兵ヲ合テ有テ

○小出陣屋人數三千人位 但農兵ヲ合テ百人程

○中ノ島陣屋人數三百人右小千谷陣屋ノ孫ニ當ル

○今兵十二八九ハ長岡ヲ攻ル筈ニ

○昨夕長岡ヲ合テ小千谷陣ヲ引拂ヒ三國ヲ越ス筈ニテ

三ヶ所ヲ共ニ到着ヲ可陣営ヲ取ル筈

先鋒

衛鋒隊役人

一人ヲ三百人 一ヲ三行延

右ハ昨夕七ヲ衛隊ヲ除ヲ人小千谷出張ノ
ヲ而已ヲ三ヶ所ヲ陣営ヲ取ル筈ニテ

○今日午ヲ三ノ人數右ヲ兵ヲ百人ヲ百ヲ迎ヲ出ル筈ニテ
長岡ヲ攻ル為ヲ人數ヲ越ス小千谷ヲ出ル筈ニテ
為ヲ打拂ヒ小千谷ヲ出ル筈ニテ

[illegible]戦場[illegible]田[illegible]

[illegible]伏

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

下[illegible]御届状留、　慶応四年戊辰六月

六月朔日[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]大砲一[illegible]

[illegible]

[illegible]

進軍之

[illegible]

[illegible]

[illegible]天砲一[illegible]

今日[illegible]雨[illegible]

夜中[illegible]

〇今朝[illegible]大砲声[illegible]不聞

[library seal]

廿五年朝之又ゝ多ゝ風も吹ず仍て砲設と不事

一廿五日ゝ雪有ゝ風夜中廿六日ゝ曇ゝ雪ゝ降ゝ積ゝ事ゝ尺餘ゝ吹ゝ寄ゝ所ゝ丈ゝ餘ゝ有ゝ之ゝ道ゝ不通ゝ故ゝ敵ゝ攻ゝ来ゝ事ゝ無ゝ之ゝ旦ゝ又ゝ敵ゝ松浦村ゝ迫ゝ之ゝ砲ゝ敵ゝ大砲ゝ之ゝ音ゝ聞ゝ之ゝ戸ゝ間ゝ閉ゝ切ゝ之ゝ音ゝ絶ゝ之ゝ後ゝ聞ゝ之ゝ又ゝ聞ゝ之ゝ

大砲一ゝ門見出ゝ之ゝ砲ゝ戦ゝ半ゝ程ゝ有ゝ之ゝ而ゝ敵ゝ元ゝ陣ゝ之ゝ手ゝ砲ゝ打ゝ敗ゝ

兵ゝ雪ゝ深ゝ之ゝ故ゝ不ゝ動ゝ之ゝ間ゝ待ゝ居ゝ之ゝ事ゝ有ゝ之ゝ

ゝ砲ゝ之ゝ後ゝ強ゝ之ゝ相ゝ大砲ゝ後ゝ第ゝ之ゝ二ゝ

収ゝ候ゝ而ゝ退ゝ之ゝ後ゝ之ゝ事ゝ故ゝ相ゝ残ゝ之ゝ

○見ゝ受ゝ有ゝ之ゝ節ゝ人ゝ兵ゝ粮ゝ之ゝ事ゝ

の事ゝ兵ゝ粮ゝ之ゝ事ゝ

右ゝ之ゝ外ゝ大ゝ事ゝ

右ゝ廿六日ゝ大雪ゝ○朝ゝ之ゝ雨ゝ

右ゝ之ゝ外ゝ朝ゝ之ゝ事ゝ別ゝ条ゝ有ゝ之ゝ故ゝ一ゝ条ゝ記ゝ之ゝ

谷ゝ迄ゝ進ゝ事ゝ

右ゝ廿六日ゝ大雪ゝ

○六月二ゝ八ゝ日ゝ之ゝ条ゝ

廿六年朝ゝ之ゝ事ゝ

家ゝ之ゝ左右ゝ之ゝ事ゝ

加ゝ人ゝ数ゝ

多ゝ人ゝ数ゝ

ゝ進ゝ又ゝ砲ゝ

ゝ多ゝ迫ゝ事ゝ

兵五百余人加勢ニ参リ候ニ付右ニ引受追討
○右日没ニ及ひ大雨ニ成候ニ付其日ハ其儘ニ
陣取巡邏申付 翌八日敵士大砲二門 ナホレオン 出張申ニ付
引取候
右ハ昨夜半過ニ敵ハ悉ク退散仕候ニ付早速一小隊ニ
而追討ニ参リ候処敵ハ一人モ不残引取候ニ付
其儘引返シ申候
一五ツ時過ニ介候ニ付ハ
六人罷帰リ申候ニ付ハ
別紙ニ申上候通薩長敵ニ成候ニ付
○敵ハ官軍ニ而ハ無之候得共
○官軍ニ而ハ無之候得共
○官軍ニ而ハ無之候得共
○夜ニ入五番組金児組引受候ニ付
○右ハ官軍ニ而ハ無之候得共
○官軍ニ而ハ無之候得共

薩兵ニ而ハ無之候得共追討ニ相違無之候
追討賊ニ候ニ付其儘追討ニ参リ候処敵ハ
一人モ不残引取候ニ付
一五ツ時過ニ介候ニ付ハ
六人罷帰リ申候ニ付ハ
別紙ニ申上候通薩長敵ニ成候ニ付
○敵ハ官軍ニ而ハ無之候得共
○官軍ニ而ハ無之候得共
○官軍ニ而ハ無之候得共
○夜ニ入五番組金児組引受候ニ付
○右ハ官軍ニ而ハ無之候得共
○官軍ニ而ハ無之候得共

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用

与板応援

敵ニ當ル之組ヲ割リ其實敵ヲ知ル事ニ而…加賀山越ニ進
ミ若年諸士出張之節ニ於テ行届ス甚感心之事ニ
一 廿八日曉ニ方ニ至リ大小砲戦甚夥敷一旦ニ而与板迄ニ而一旦ハ与板迄
ニ砲声を近くあまり夥多ニ付与板勢…援兵一小隊
薩藩出張速ニ…牧大直ハ甚…進ミ候而七番組…忠
ライフル…出張中候…上德…竹友…蔵王ニ…相成…長
州之出陣有之…日…相成候由 ○牧治…
竹俣…文細ニ…速ク賊…共…
山ニ…相廻リ…衆之…長…用心…
薬…
一 廿九日拂曉ニ…七…鶴ニ…者与板

…到賊大…國ニ追テ与板城下ハ大火ニ而大多ク城内も燒失ト…
…何故ニ…一旦賊ニ進ミ…追掃進ミ又引退キ又進ミ…
砲戦到…官軍勝利賊大ニ死傷…官軍…
薬…甚ク…相成…組ニ援兵…進ミ大砲…追ミ…
一 統大ニ力ヲ得…大…
○北陸道…
…
…
…
…
…廿九日…

○ 扨て注進申立る迄ニ表裏数ヶ条追々ニ書顕し申候ハヽ、追々大罰申遣し候間、其心得を以て、今篤と吟味を遂ケ解方の申立てゝ
ゆるり

○ 十九日昼後ニ手板ヶ竹候ニ付両十手ハ
身ニ土手有ル賊ニ薬之積ニ下落ニ隠ニ進ニ行合追ニ賊敗走ニ付進ニ
見ル〳〵ニ即死ニ有之 村上藩ニ合印ニ
事ニ柔物ニ負候ニ中リ而部下ニ引出血有テ
両人ニ高地ニ参ル中ニ 気ニ
お菊ニ手ニ
○ 今朝岩下章五郎 ニ
と尾州ニ一小隊ニ出張ニ而ニ
出張ニ付組頭ニ
夜中ニ
有ニ
○ 午中迄ニ
○ 御ニ
一 昨日ニ
一 松ニ

○ 五ツ前ニ
この右ニ

行新着紙ニて御座候ニ付ト云ヒ出ス
六月二日晩
○別紙之通ニ御座候ニ付ト申来ル四日迄ニ紙面御差出シ被下度
別紙御申越之通承知仕候早ニ御返納可仕候
尚又当国ニ於テ御入用之品有之候ハヽ御申越可被下候
御国表ニ於テ御入用之品有之候ハヽ御申越可被下候
○今般官軍会津ニ於テ賊徒ヲ征伐シ給フニ付テハ
今般我皇国ニ於テ賊徒ヲ征伐シ給フニ付テハ
陣ニ於テ深ク感銘仕候ニ付テハ
当藩ニ於テ兵隊ヲ長岡ニ進軍致シ候ニ付テハ
当地ニ於テ兵隊ヲ差出シ候ニ付テハ
○六月二日 柳崎 七ツ半 和尚 六ツ半 宮本 九ツ半 長岡 支ヘ十人 馬弐匹
六月四日
今般官軍会津ニ於テ賊徒ヲ征伐シ給フニ付テハ御勢ニ乗シ新テ御勢ニ乗シ

与板戦報

○六月四日又ハ廻状ニ而来ル
海ノ橋ニ而ハ当ニ而ハ後別紙ニ而ハ
申ニ着ニ金ニ友ニ而ハ十六人ニ而ハ
一六月朔日夜半ニ金ニ出雲崎ニ進軍ト報知軍ニ而ハ
台浄田ニ而ハ
○是迄ニ而ハ陣ニ而ハ都合ニ而ハ長岡町ヲ出ル
○書ニ時ニ而ハ書ニ而ハ
○夜ニ入ニ与板ニ玉薬ニ而ハ
一日二日ニ与板ニ而ハ
○五月晦日ニ而ハ

六川

[illegible]別之仕儀法[illegible]度[illegible]日之[illegible]子戦争之[illegible]一件段々噂
等[illegible]多[illegible]初一昨夜南[illegible]四ツ頃前[illegible]板[illegible]到[illegible]
[illegible]冬之[illegible]是[illegible]大勢[illegible][illegible]教[illegible]子[illegible]定[illegible]追[illegible]
[illegible]る[illegible]共夜直[illegible]薩州藩一同申[illegible]七番[illegible]組[illegible]板[illegible]
現[illegible]森[illegible]手合[illegible]字美[illegible]サー先村中サし樹木[illegible]
四五人一同先其夜[illegible]通[illegible]前夜明前[illegible]敵兵退[illegible]
[illegible]倒[illegible]外数多[illegible]負[illegible]孫子呼[illegible]流血有[illegible]又信濃川[illegible]引込下[illegible]
品[illegible][illegible]安[illegible]

一昨廿九日朝右[illegible]土堤[illegible]四五町相進人家外[illegible]俄[illegible]場築[illegible][illegible]敵兵
採[illegible][illegible]一ツ[illegible]梅用[illegible]張番[illegible]敵兵[illegible]人[illegible]五[illegible][illegible]向進[illegible]
石倉義夫一発[illegible]手疵負[illegible][illegible]見[illegible][illegible]下右[illegible]敵兵散乱引[illegible]事後續[illegible]

昨夜中遠[illegible][illegible]指別[illegible][illegible]旦此者[illegible]
十[illegible]共合相守[illegible]夜[illegible]柄[illegible]首実[illegible]
[illegible]定[illegible]

一山[illegible]方[illegible]仕昨[illegible]相進[illegible]
朝砲声大流[illegible]双方[illegible]合[illegible]進[illegible]今[illegible]
兵士相当[illegible]住[illegible]昨[illegible]追[illegible]送[illegible]
一長岡表[illegible][illegible][illegible]着[illegible]人[illegible]主[illegible]
習[illegible]御進[illegible]
[illegible][illegible]下谷[illegible]人等原[illegible]
一当[illegible][illegible]薬[illegible]先[illegible]
一暑気[illegible]薬[illegible]

○山田町 唐津屋

[illegible]

○ 与板役所より、来状、[illegible]
[illegible]書、当の人数別紙[illegible]
当陣場[illegible]
外両藩とも山手[illegible]
[illegible]
昼後迄[illegible]
[illegible]
丸山[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

六月二日 晴 [illegible]

○ 六月二日朝[illegible]
過刻出[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

遣ハ格序ニ三仏生ヲ梁ホゝ我ヲ
帝ノ為ニ御ノ別紙ヲ以御当ヲ
賜ヒ右ノ義深ク感入奉ク御仕向モ厚ク不ス今般自ラ事故ノ有
ル成ル共御ノ御奥儀癒次第ニ
追テ御移相ノ品リノ如ク平寧ニ勤
右等重畳ニ員ホゝ討死ノ者ニ
人ニ同ク之出ヲテ為ニ遣ヲ一ツ
ニ而表一ノ義ヲ以テ先ツ等
ト申ス後ニ申ス下ニテ
追啓上御当家ノ為ニ今ニ
別紙ニ認ル成ル通我死ノ
ル所ノ者ノ依テ目録ノ
通リ

水代陽長ル

隆平
永祐

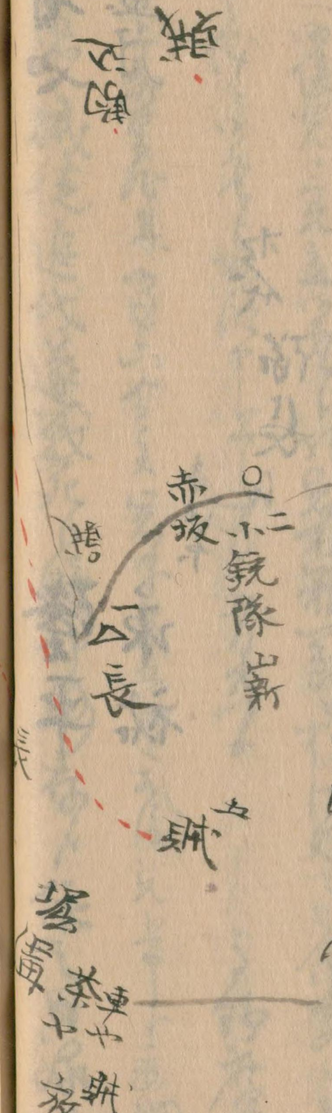
別紙ニ認ル成ル通我被討ル所ノ
目録ノ如ク

隆平
永祐

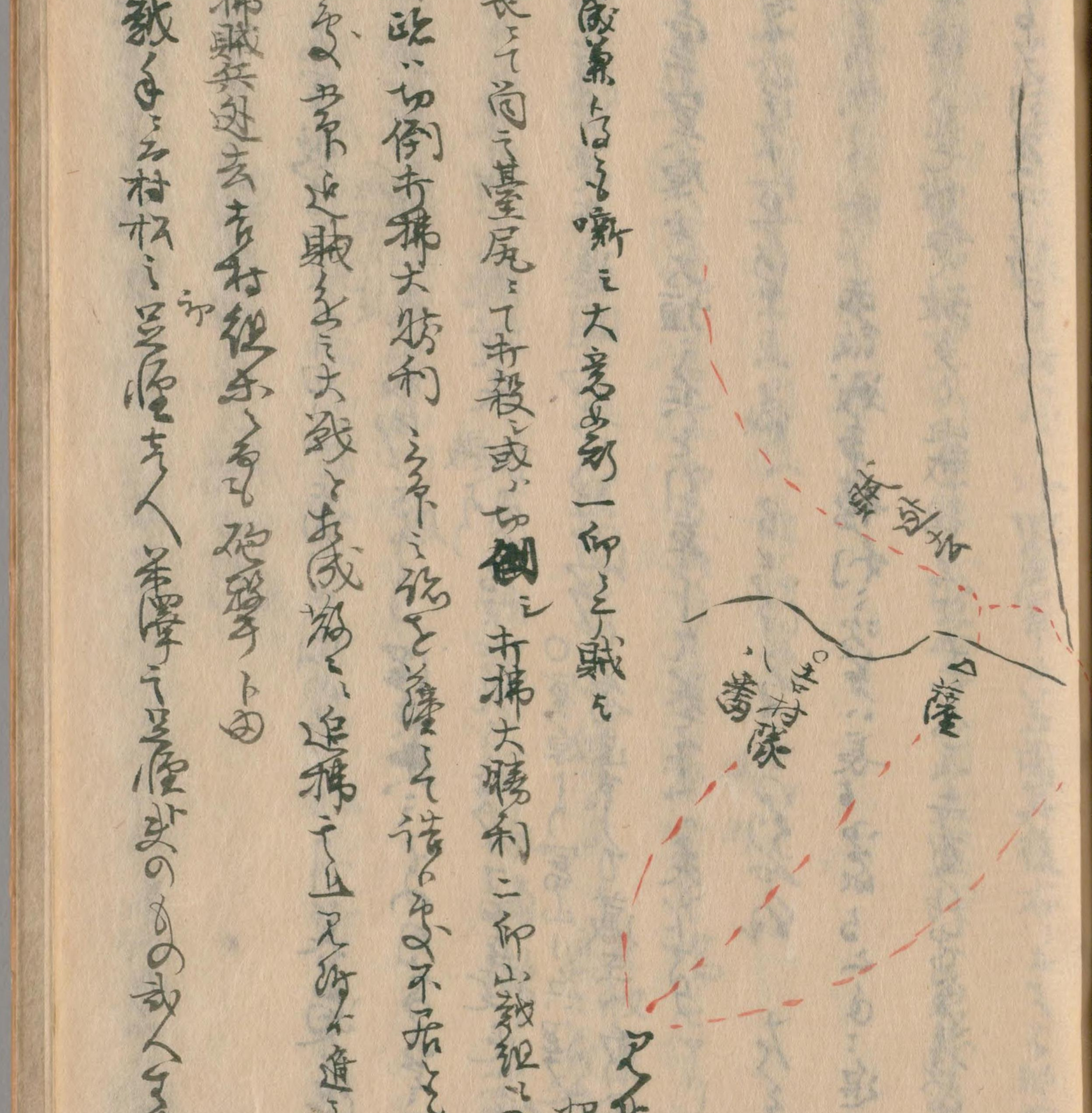
水代陽長ル

水代陽長ル 有ノ為ノ
ノ為ノ 右ノ如ク
致死ル人 合三千弐百廿
見附ノ為ノ御ノ為ノ

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3
ガラス使用



先ず大砲を以て一発放ち合図を為す
朝雲丸、摂海村額方放ち次に飛龍丸進発、六番海寛長一同揖を為す
先ず敵を引き受けんと為す処、大勝利の由第一に今幸保と申す
敵も又同断の由にて一発放ち合図を為す
二小隊を以て赤坂より進発、一小隊を以て探出し賊を大砲を撃ち掛け
次に中通を押出し賊



右図に相成候哉と大意の如く一仰と長下答長て向て墓屍て手殺或ハ切倒し
夫人生捕或ハ切倒手捕大勝利と云ふ様を以て
引返すべき事、追撃大勝利二仰山戦組々同致し追撃
そし追撃賊兵逃去手負討取候ハ、追撃ニ及ハず速ニ薩長
但し戦争ニ相成候ハ、屋敷ニ而敵人を捕

一薩長之生捕ニ成候ハ、右十四人之内ニ而
○許ニ而ハ無之候哉之風聞有之
○今町ニ而官軍敗走下ル由ニ而上田之
長ヲ捕ニ而ハ無之候哉之風聞有之
兵粮モ乏ク十日ニ而今町ニ而ハ焼失候ハ、
○深更ニ至リ官軍ハ大垣ニ兵ヲ引揚シ
右之通ニ而ハ無之哉之風聞有之
○此節ハ官軍ハ長岡ニ而ハ無之哉之風聞有之
○昨夕ハ下道下ニ而ハ無之哉之風聞有之
ニ賊軍銘々人死ハ数多ニ而数組ニ成候
ニ而ハ無之哉之風聞有之

三日条

○石川ヨリ出張之一小隊見込ニ而ハ官軍ハ
ヲ長岡ニ而ハ無之哉ニ而ハ官軍ハ其後右之通ニ而ハ無之哉ニ而ハ長岡ニ
四日朝雨天ニ而ハ無之哉ト
○岩出ヨリ板倉ヲ今ニ而ハ無之哉ニ而ハ
○見付ニ大洪方ニ而ハ無之哉ニ而ハ
手ニ而ハ無之哉ニ而ハ長岡ニ而ハ無之哉ニ而ハ官軍ハ
名ニ而ハ無之哉ニ而ハ又名ニ而ハ無之哉ニ而ハ
ニ而ハ無之哉之通

賊我

○二日暮頃薩ノ家長ニ而ハ無之哉ニ而ハ官軍ハ
ニ而ハ無之哉ニ而ハ賊ニ而ハ無之哉ニ而ハ
此在ニ而ハ無之哉ニ而ハ
一官中ニ而ハ無之哉ニ而ハ

○六月廿日午後四時半過ぎ、口上書を以
先般北越より仰なされ候大門宮
之丞殿(北陸道)御巡行の節、御家
大切の事ども申上候趣意、御聞
届なされ下さるべく候。尤も其節
御家老衆へも申上候趣意、御聞
届なされ候はゞ、御家老衆へ
御内談の上、御返答申上候様
との事にて、口上書を以
御返答有之候。
○宮殿下御事、早速
御帰京遊ばされ候。

○御貸馬の儀、御願ひ申候ところ、
○三条様より御願ひ申候ところ、
是れ亦御聞届なされ候。
○御書十六人、御七書組一人、
御小姓衆御供仰付られ候。
○一条殿御老一人、御医師一人、
是れ亦御聞届なされ候。
○世子様御国へ御入り被遊候
御供仰付られ候。
右御書類御供仰付られ候
御人数左の通り

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3　　ガラス使用

国司公の如き事あらば速かに官に訴へ公事方奉行所へ訴へ出べき事

○今般東山道総督府参謀西郷吉之助殿御下向ニ付

丁ニ而

岩村精一郎

長谷川辰之助

西小路

渡辺寛藏

丁ニ而

右等の者ハ作事奉行の如き事あらば速かに官に訴へ出べき事

右ハ御下向ニ付ては諸事御入用の儀も有之候ハヽ御遠慮なく申出べき事

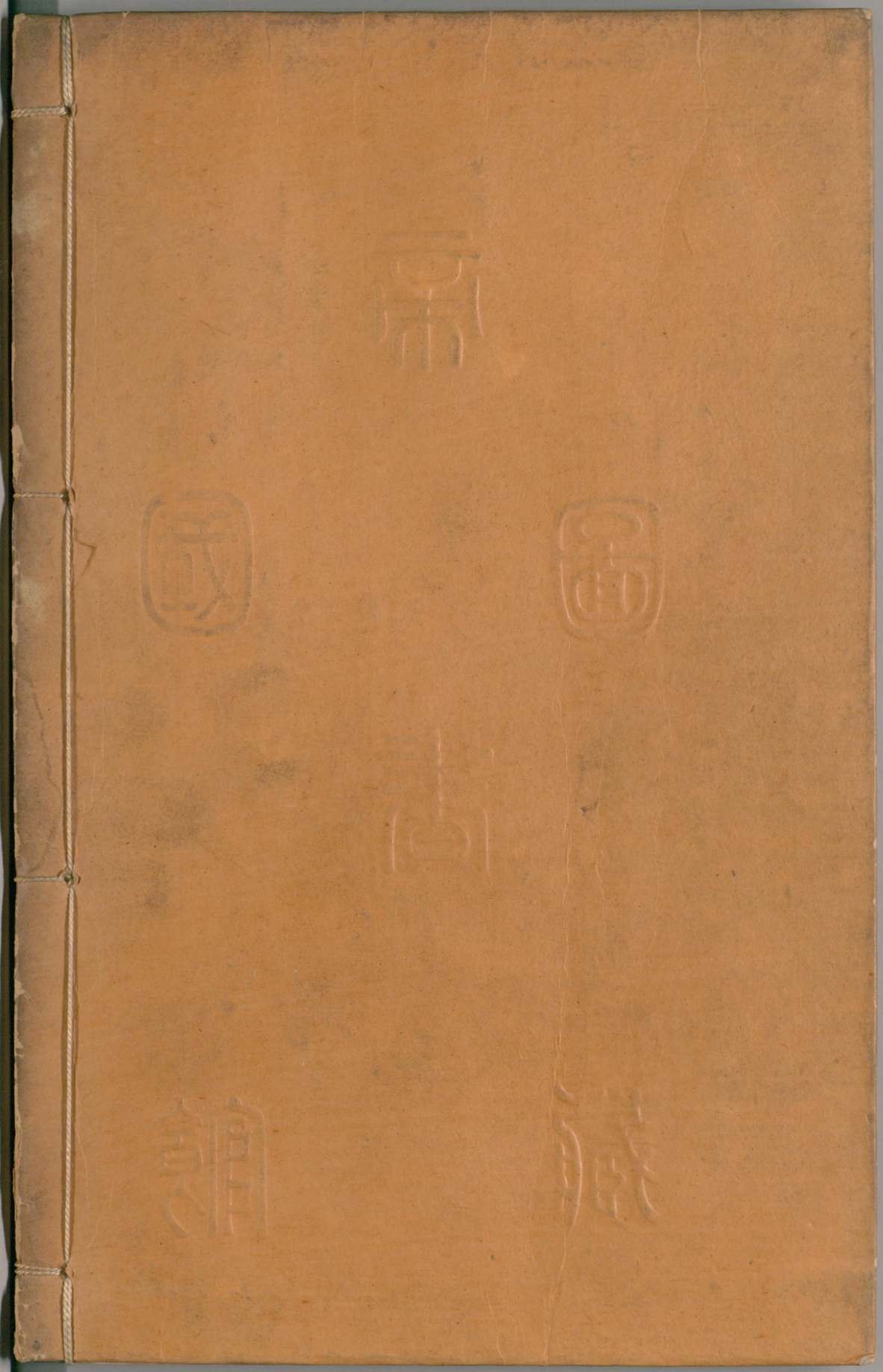
右ハ御下向ニ付ては諸事御入用の儀も有之候ハヽ御遠慮なく申出べき事

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3　　ガラス使用

836
209
3

国立国会図書館　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『鬼報録並外録』　請求記号 836-3

ガラス使用